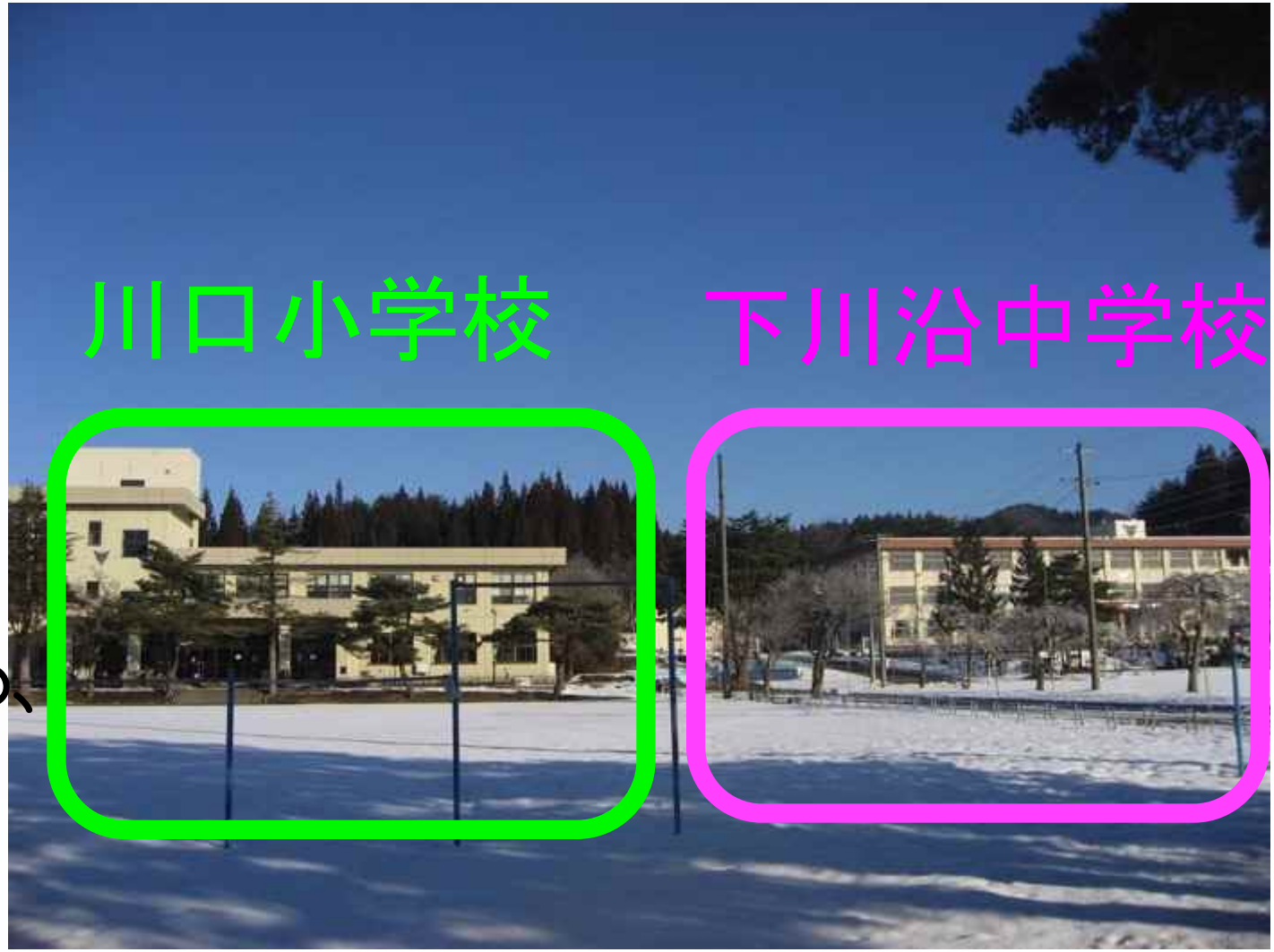
よりよい食習慣・マナーを身に付けた
きらきら かがやく 川口っ子を目指して
～栄養教諭配置校と栄養教諭未配置校が連携した食育の取組～

【県北地区】令和２年２月４日（火） 北秋田市交流センター
大館市立下川沿中学校　栄養教諭　畠山　美佳子
大館市立川口小学校　養護教諭　佐藤　啓子

はじめに・・・

●全校児童
　　１１１名

川口小学校と
下川沿中学校は
校門が一緒で、
隣接しているため、
交流も盛んです。

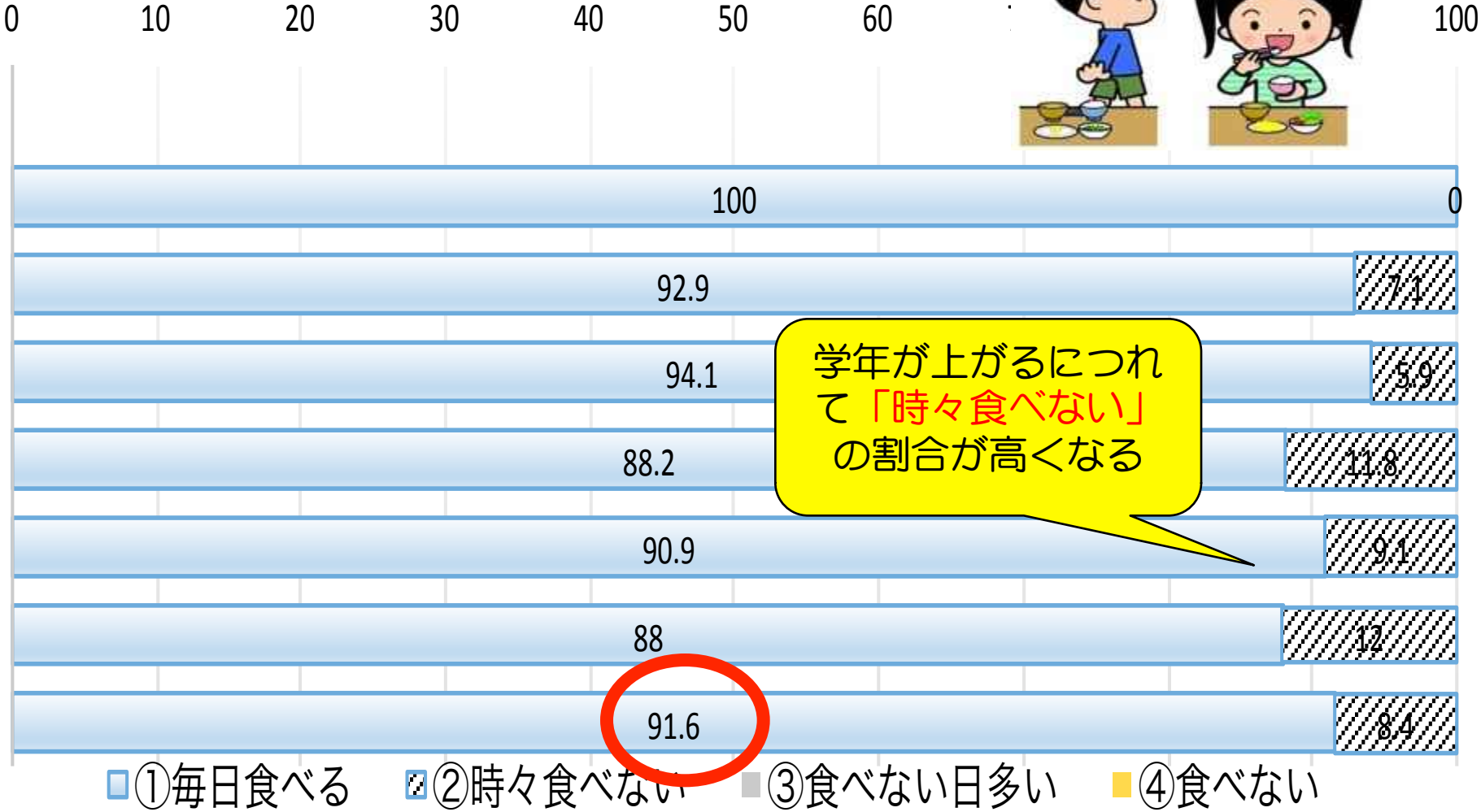


実践の進め方

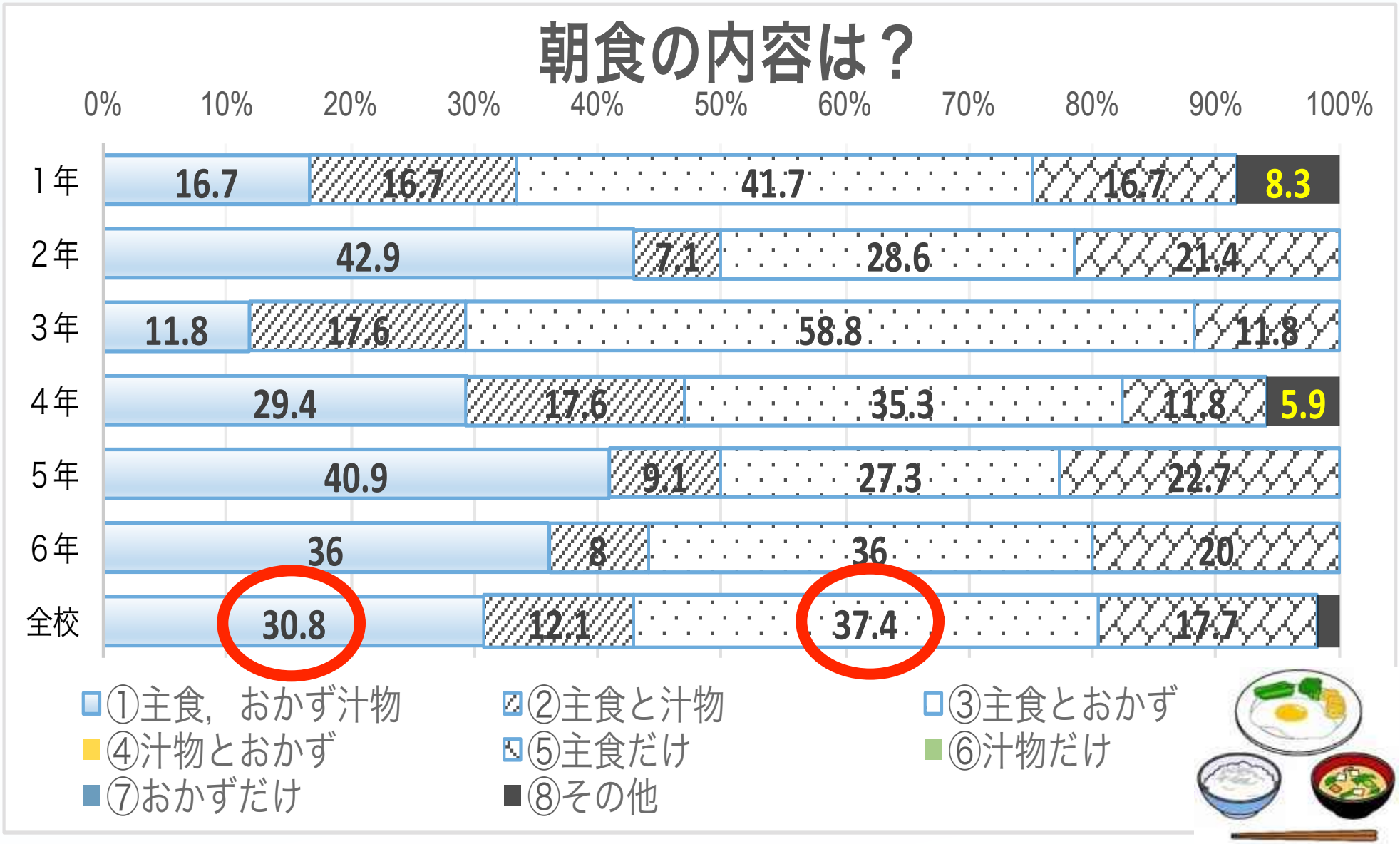
	手順	内容
1	実態把握	アンケート実施（5月）
2	評価指標の設定～「目指す姿」 食に関する全体計画の作成	成果指標（アウトカム）と 活動指標（アウトプット） 食育推進体制作り（5月）
3	食育の実践	給食時間等・教科等・家庭地域とのかかわり
4	評　価	アンケート実施（１２月）→評価指標による評価
5	成果と課題	次年度へつなげる

1　実態把握　～食生活アンケートの実施～

学校がある日、朝食を食べますか？

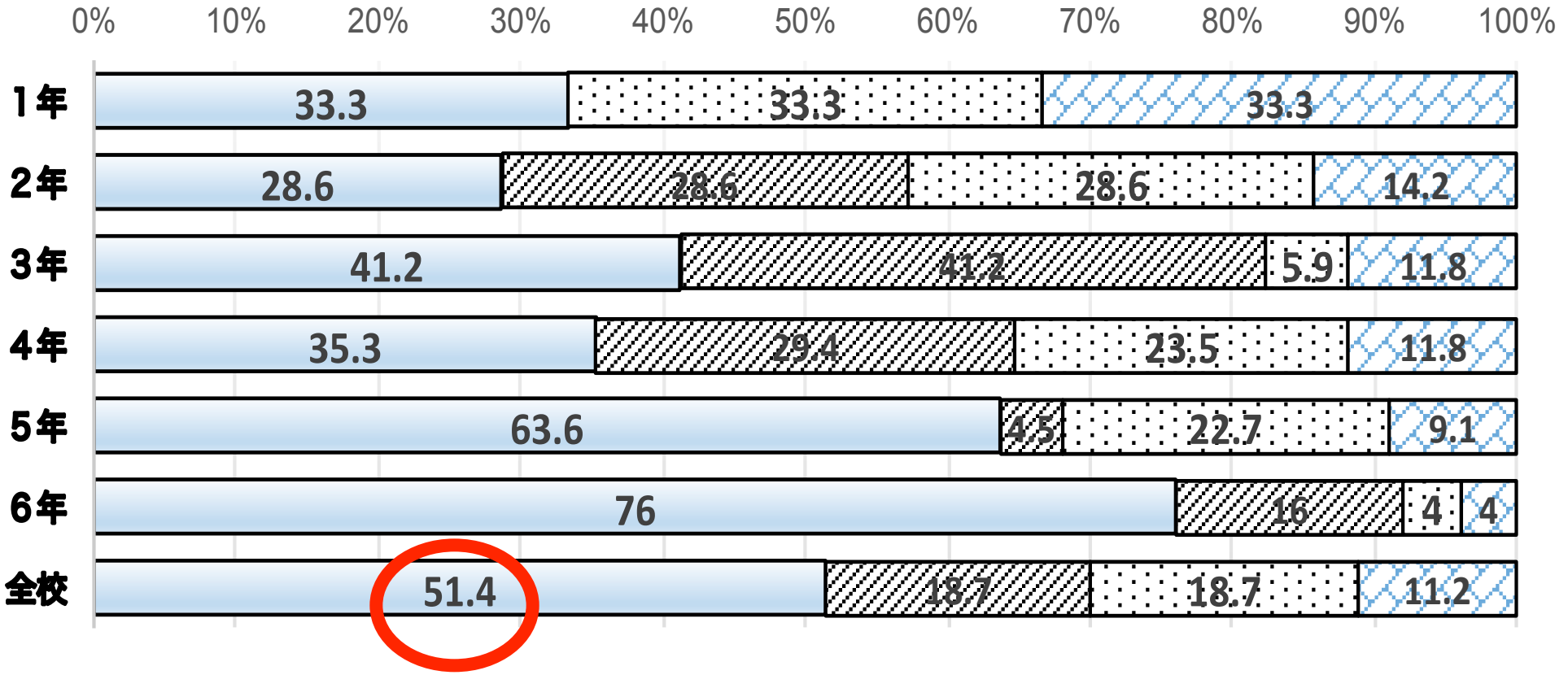


1　実態把握　～食生活アンケートの実施～



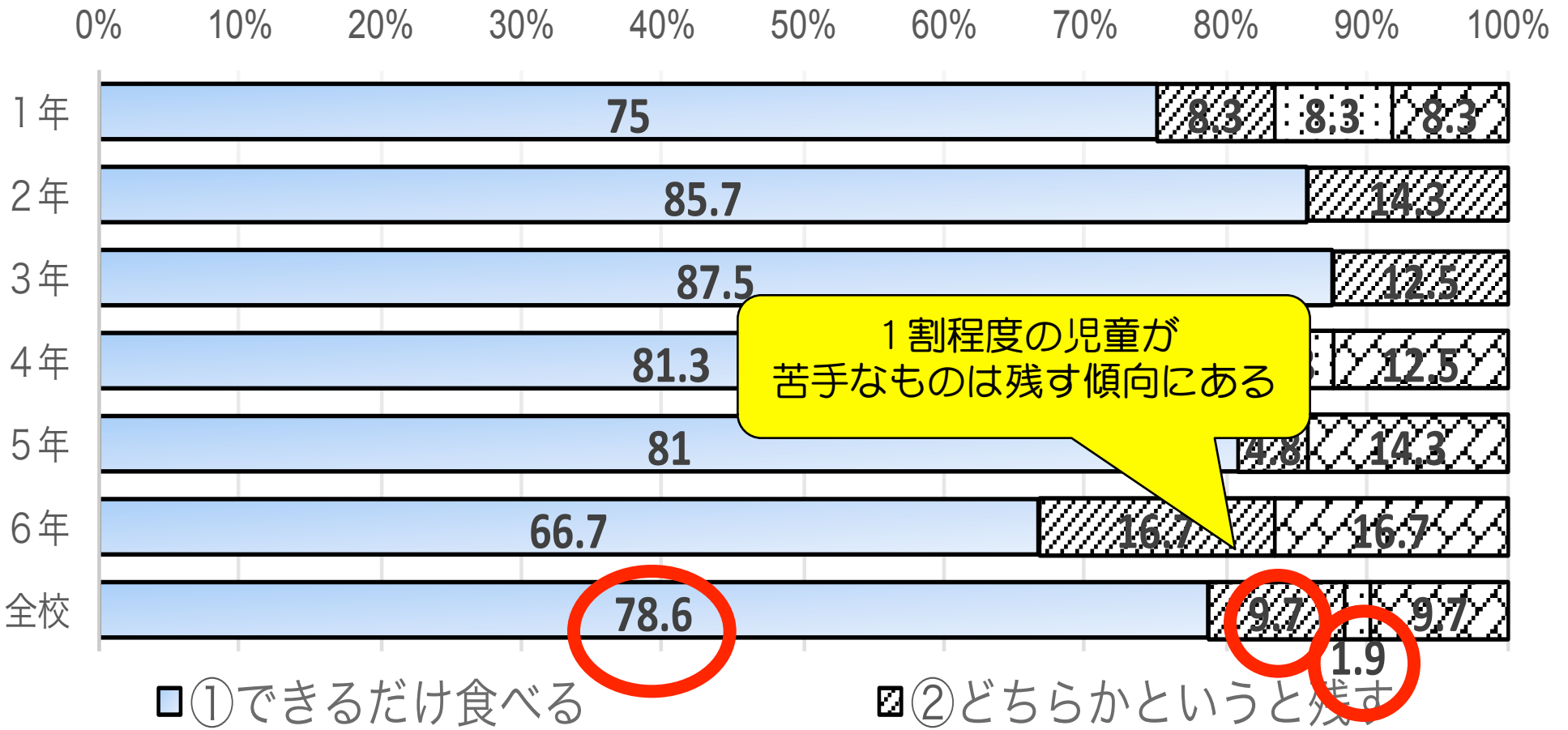
1　実態把握　～食生活アンケートの実施～

給食は残さず食べていますか？



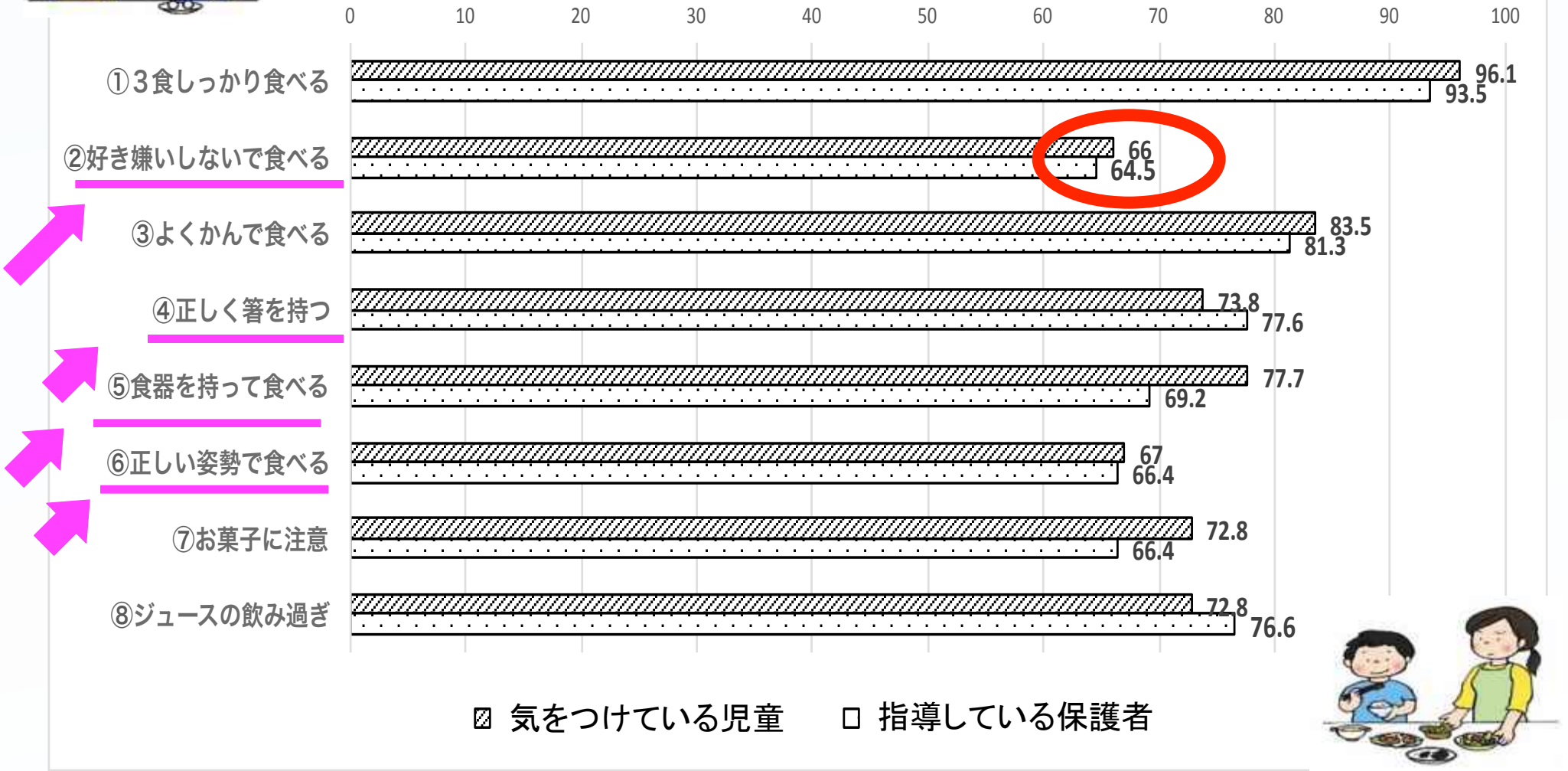
1　実態把握　～食生活アンケートの実施～

苦手なものが出たときは？



1　実態把握　～食生活アンケートの実施～

全校　普段の食生活で気をつけていますか？



アンケート結果からみえた課題

①朝　食

朝食を毎日食べる児童は多いが、
栄養バランスのよい朝食をとっている
児童は少ない。

②好き嫌い

好き嫌いしないで食べようとする児童、
好き嫌いしないように指導する保護者、
どちらも少ない。

③食事マナー

はしや食器の持ち方、姿勢など、
マナーが身に付いていない児童が多い。
指導する保護者も少ない。

２　評価指標の設定（食育の評価）

成果指標（アウトカム）

取組による変化を評価
→「量的」な評価
数値で表す
→「質的」な評価
子供たちの
コメントや発表の内容等

●児童生徒・保護者を対象とした
食生活アンケートの結果
●指導後のシートのコメント
や発表

活動指標（アウトプット）

学校での、食育の
取組状況に関する評価

評価者
取組に係わった実施者と
第三者（学校職員等）

教職員を対象としたアンケート

栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育H29.3　文部科学省

成果指標（アウトカム）

成果指標項目		現状値（%）	目標値（%）
食習慣の状況	朝食を「毎日食べる」と回答した児童の割合	91.6	94.0
	朝食の内容を「主食＋おかず＋汁」と回答した児童の割合	30.8	40.0
学校給食での栄養摂取状況	学校給食を「いつも完食」と回答した児童の割合	51.8	60.0
	配膳されたものを残さず食べようと	75.4	80.0
	苦手なものがでた時「できるだけ	87.1	93.0
食に関する意識の改善状況	「好き嫌いしないで食べる」こと	66.0	70.0
		64.5	70.0
	「正しくはしを持つ」こと	73.8	78.0
		77.6	85.0
	「正しい姿勢で食べる」こと	67.0	70.0
		66.4	70.0

数値目標の設定

例えば‥

「いつも完食」を指導により

5人増やしたい

↓

【現在】⇨【目標】

25/50人→30/50人

50%　60%

活動指標（アウトプット）

食に関する指導	給食の時間における食に関する指導	給食の時間を活用した食に関する指導が実施され、機能しているか。
		□栄養教諭と養護教諭が連携した指導を計画的に実施できたか。
		□手洗いや配膳、食事マナーなど日常的な給食指導を継続的に実施できたか。
		□教科等で取り上げられた食材や学習したことを、学校給食とつなげて指導できたか。
		□給食を通して、地域の食材や伝統的な食文化、産地や栄養的な特徴等を知らせることができたか。
連携 ・ 調整	食に関する指導	教師同士の連携体制が構築され、食に関する指導が行われているか。
		□栄養教諭は、養護教諭、教諭と連携して指導ができたか。
		□家庭や地域、生産者等と連携を図った指導ができたか。

【評価】　1：できた　　2：おおむねできた　　3：あまりできなかった　　4：できなかった

２　食に関する指導全体計画の作成

全体計画①

全体計画②

● 食に関する指導の全体計画（中学校）例

・生徒の実態 ・保護者・地域の実態 等を記述する。	学　校　教　育　目　標	学習指導要領 食育基本法 食育推進基本計画 教育委員会の方針

食　に　関　す　る　指　導　の　目　標

① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする
② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける
③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける
④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をはぐくむ
⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける
⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ　（など）

幼稚園・保育所 → 小学校

幼稚園・保育所、小学校との連携における基本方針等を記述する。

各　学　年　の　食　に　関　す　る　指　導　の　目　標

1　年	2　年	3　年
○毎日規則正しく食事をとることができる。 ○自分の生活や学校の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。　（など）	○食環境と自分の食生活とのかかわりについて理解することができる。 ○身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。　（など）	○生活の中で食事が果たす役割や健康とのかかわりを理解する。 ○１日分の献立をふまえ、簡単な日常食の調理ができる。 ○食品の安全で衛生的な取り扱いができる。　（など）

特別活動	学級活動○及び給食の時間 ◎食に関する指導 ●給食指導	1年	◎朝食の大切さを見直そう ●給食時間の過ごし方 ・準備・後片づけ・手洗い・身支度	◎夏の健康と食事について考えよう ●食事、会食の仕方	◎日本食を見直し良さを知ろう ●準備・後片付けの協力	◎楽しい給食時間の過ごし方を考えよう ●食事のマナー
		2年	◎成長期の食事を知ろう ●給食時間の過ごし方 ・準備・後片づけ・手洗い・身支度	◎夏の健康と食事について考えよう ●食事、会食の仕方	◎地場産の食材を使った料理を考えよう ●衛生的な食事	◎食文化について考えよう ●食事のマナー
		3年	◎行事食の由来を知ろう ●給食時間の過ごし方 ・準備・後片づけ・手洗い・身支度	◎旬の食材について知ろう ●食事、会食の仕方	◎抵抗力を高める食事について考えよう ●衛生的な食事	◎生涯の健康について考えよう ●食事のマナー
	全校一斉指導等		○給食時間の過ごし方を考えよう ○健康な歯や骨をつくろう	○会食の仕方を考えよう ●予約給食(セルフサービス)	○感謝して食べよう	○正しい食事マナーを身に付けよう ●リクエスト給食　選択給食
	学校行事		身体計測、歯科健診 旅行的行事 食育月間	授業参観 学校保健委員会 体育祭	授業参観 学校保健委員会	学校給食週間
	生徒会活動		組織作り、年間活動計画作成、たより作成	牛乳と他の飲み物の栄養比較調査	スナック菓子の塩分・脂肪分調査、リクエスト献立募集	牛乳の残量調査 今年度の活動の反省

食に関する指導の手引き第一次改訂版H22.3　文部科学省

全体計画①

アンケート結果
現在の姿

元年度　食に関する指導全体計画　　大館市立川口小学校

【児童の実態】
・朝ご飯を毎日食べる児童 91.6 %
・好き嫌いせずに食べる児童 66 %
・正しい姿勢で食べている児童 67%
・正しく箸をもって食べている児童 73.8 %
・お菓子を食べ過ぎないように気をつけている児童 72.8 %

【保護者の実態】
・好き嫌いしないで食べるよう指導している保護者 64.5 %
・正しい姿勢で食べるよう指導している保護者 66.4 %
・正しく箸を持つよう指導している保護者 77.6 %

学校教育目標

夢や目標に向かって　進んで挑戦する子どもの育成
～きらきら　かがやけ　川口っ子～

【第３期秋田県食育推進計画】

・朝食の摂取率（毎日食べる）
小学５．６年　９６%
・適切な食事の摂り方や望ましい食習慣の定着を図る。

【大館市教育委員会
学校教育指導の重点】
・自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く、児童生徒の育成

食育の視点
◇食事の必要性
◇心身の健康
◇食品を選択する能力
◇感謝の心
◇社会性
◇食文化

食に関する指導の目標

（知識・技能）
望ましい栄養や食事のとり方を理解し、健全な食生活に必要な技能を身に付ける。

（思考力・判断力・表現力等）
健康な食生活を実現するために自分の食生活を見直し、何が必要かを考え、自ら判断し、行動できる。

（学びに向かう力・人間性等）
残さず食べることで食に関しての感謝の気持ちを表現しようとする態度を身に付ける。

指導により
目指す姿

全体計画②

令和元年度　食に関する指導の全体計画　②

「目指す姿」にたどりつくために、実施すること

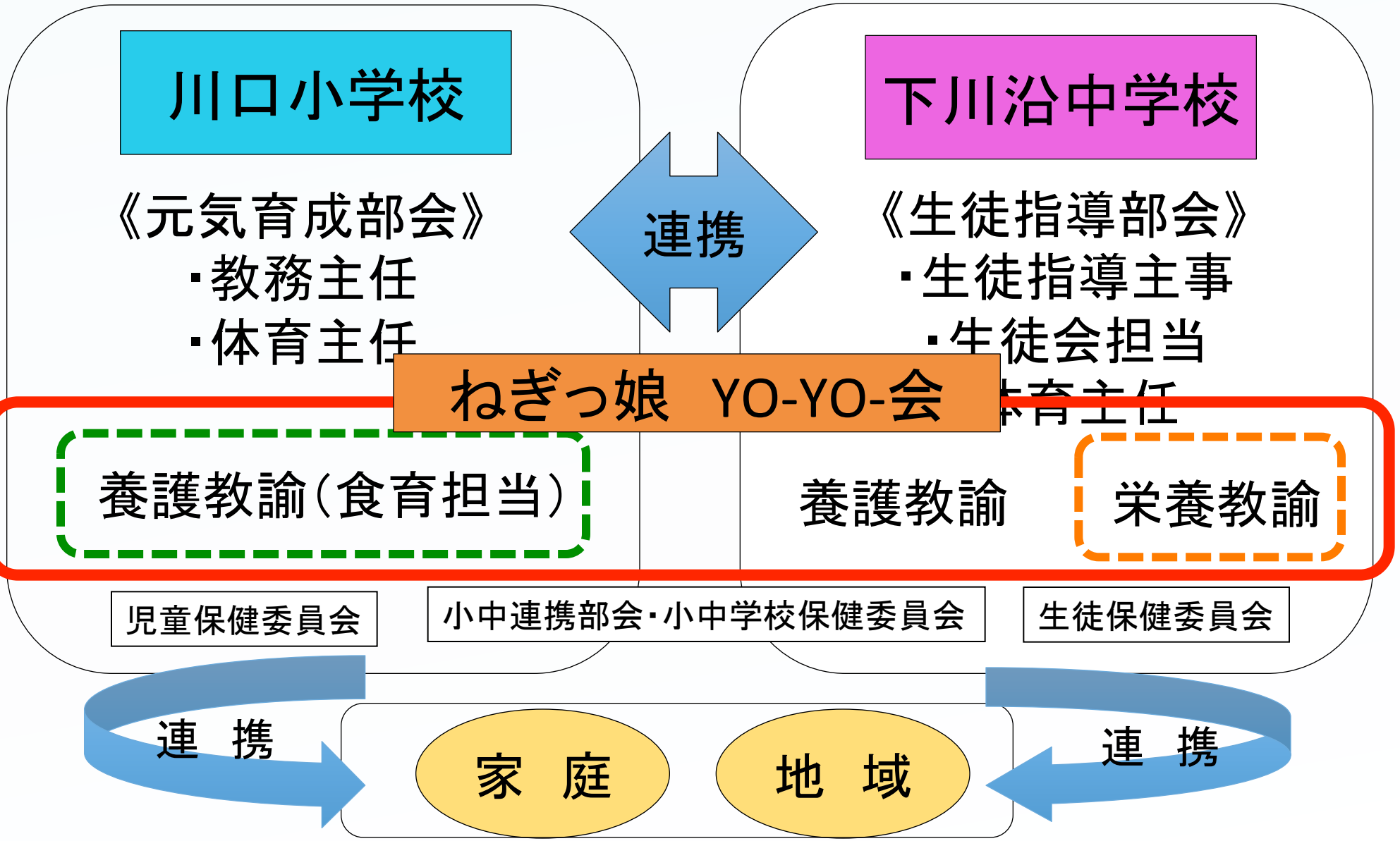
		4月	5月	6月	7月
学校行事等		入学式・始業式	運動会		自然教室
推進体制	進行管理	委員会　　YO-YO会			
	計画策定	計画策定			
教科・道徳等・総合的な学習の時間	社会	【6年】縄文のむらから古墳のくにへ		【4年】水はどこから　【5年】くらしを支える食料生産【5年】米づくりのさかんな地域	
	理科	【3年】たねをまこう【4年】動物のからだのつくりと運動【6年】動物のからだのはたらき		【3年】どれくらい育ったかな【4年】暑くなると【6年】植物のからだのはたらき	
	生活	【2年】おいしくそだてわたしの野さい【1年】がっこうだいすき		【2年】おいしくそだてわたしの野さい	
	家庭	【5年】はじめてみようクッキング【6年】いためてつくろう朝食のおかず			
	体育（保健領域）				
	他教科	【6年国語】カレーライス【6年外国語】welcome to japan.（食べ物と行事）		【1年国語】おむすびころりん【1年国語】おおきなかぶ	
	特別の教科道徳	【1年】みんないきてる			
	総合的な学習の時間			【3年】地域の特産品育て隊	

全体計画②

栄養教諭（学校栄養職員）が作成する部分

学校給食の関連事項												
	旬の食材	山菜、きゃべつ、菜の花、さわら	山菜、きゃべつ、アスパラ、たけのこ、かつお	アスパラ、さくらんぼ、オクラ、メロン、もも	きゅうり、トマト、ピーマン、いんげん、スイカ、なす	さんま、ピーマン、トマト、なす、ズッキーニ、きゅうり、とうがん、しいたけ、ぶどう、りんご	さんま、さけ、きゃべつ、ごぼう、ねぎ、さつまいも、りんご、なし、ぶどう	いわし、ごぼう、ねぎ、ほうれんそう、はくさい、里芋、とんぶり、りんご、なし、ぶどう	ごぼう、れんこん、だいこん、ねぎ、ほうれんそう、はくさい、りんご	たら、はくさい、カリフラワー、だいこん、ほうれんそう、ねぎ、みかん	はくさい、こまつな、ほうれんそう、みかん	にら、ブロッコリー、みつば、いちご
	地場産物	にんじん、ねぎ、枝豆、しいたけ、古代米	アスパラ、枝豆、しいたけ、山菜、たけのこ、切り干しだいこん、干し大根、枝豆、古代米	アスパラ、枝豆、たけのこ、枝豆、しいたけ、山菜、古代米	きゃべつ、きゅうり、玉ねぎ、トマト、じゃがいんげん、ピーマン、ズッキーニ、モロヘイヤ、枝豆、しいたけ、山菜	きゅうり、玉ねぎ、なす、ピーマン、ジャンボいんげん、アスパラ、ピーマン、モロヘイヤ、ズッキーニ、枝豆、とうがん、里芋、しいたけ、山菜、りんご、ぶどう、なし	じゃがいも、きゅうり、ねぎ、きゃべつ、たまねぎ、枝豆、にんじん、かぼちゃ、里芋、しいたけ、山菜、とんぶり、米粉、りん	きゃべつ、ごぼう、じゃがいも、にんじん、大根、はくさい、しいたけ、枝豆、ねぎ、なし、りんご	じゃがいも、にんじん、かぼちゃ、はくさい、きゃべつ、だいこん、ねぎ、玉ねぎ、枝豆、しいたけ、とんぶり、りんご、古代米	きゃべつ、だいこん、はくさい、だいこん、ねぎ、せり、枝豆、しいたけ、山菜、りんご	はくさい、ねぎ、だいこん、枝豆、しいたけ、山菜	ほうれんそう、だいこん、枝豆、しいたけ、山菜、古代米
		＊毎日「給食ひとくちメモ」として、その日の地場産食材や栄養、食についての内容を校内放送で紹介する。（「あきたYUME給食」の日は、生徒が考えたやりとりバージョンで作成して紹介）										
	食文化の伝承・行事食	入学・鍬灸お祝い給食	端午の節句給食	虫歯予防デー献立、総体応援給食	七夕給食	十五夜給食、敬老の日献立	目の愛護デー献立、ハロウィン給食		クリスマス給食、冬至給食	学校給食週間献立	節分献立	ひなまつり献立、受検応援献立、卒業お祝い献立
	その他			セレクト給食			大館ワンだふる給食	セレクト給食			リクエスト給食、セレクト給食	バイキング給食（小6）
		あきたYUME給食（1月はYUMEウィーク）・減塩チャレンジ給食・かみかみデー（毎月実施）										

食育推進体制


川口小学校
下川沿中学校
《元気育成部会》
・教務主任
・体育主任
連携
《生徒指導部会》
・生徒指導主事
・生徒会担当
ねぎっ娘　YO-YO-会
養護教諭（食育担当）
養護教諭
栄養教諭
児童保健委員会
小中連携部会・小中学校保健委員会
生徒保健委員会
連　携
家　庭
地　域
連　携

３　食育の実践

（１）給食の時間等の指導

①ペロリンピック　　②縦わり班給食

③マナールーレット　　④おはし検定

⑤給食ひとくちメモ

（２）教科等の指導

①学級活動　　②生活科　　③総合的な学習の時間

（３）家庭・地域とのかかわり

①給食試食会　　②小中合同学校保健委員会

③なべっこまつり

（1）給食の時間等の指導　【①ペロリンピック　（小・中）】

《ねらい》 ・苦手なものにも、ひとロチャレンジしよう。
・2つ目の目標は自分で決めたマナー目標。中学校は総体にむけた体作り、2回目はマナー目標。
・ペロリンカードを通して、家庭への啓発につなげる。【心身の健康】

廊下に大きく掲示

《栄養教諭のかかわり方》
・5日間、残量の計量をして、グラフにして届ける。　・ペロリンカードのコメント。（小学校は養護教諭）
・ハッピーにんじんをプレゼント。

（1）給食の時間等の指導【②　縦わり班給食（小学校）】

《ねらい》　・異学年で食事をすることで、他を思いやったり、しっかり食べることや食事マナーを学んだりすることできる。
・異学年で交流しながら、楽しく食事をすることができる。　【社会性】

こんな姿がみられます！
・いつもは残すけど、低学年の子がいるからがんばって食べようとする
・こぼしてしまった低学年の子の面倒をみてあげる

お兄さんお姉さんたちは、たくさん食べるんだな～

みんな残してない…私もがんばって食べてみようかな！

（1）給食の時間等の指導　【③ マナールーレット（小学校）】

《ねらい》
みんなが楽しく食べるための
マナーを知り、気持ちよく食事
ができるよう意欲をもたせる。
【社会性・食文化】

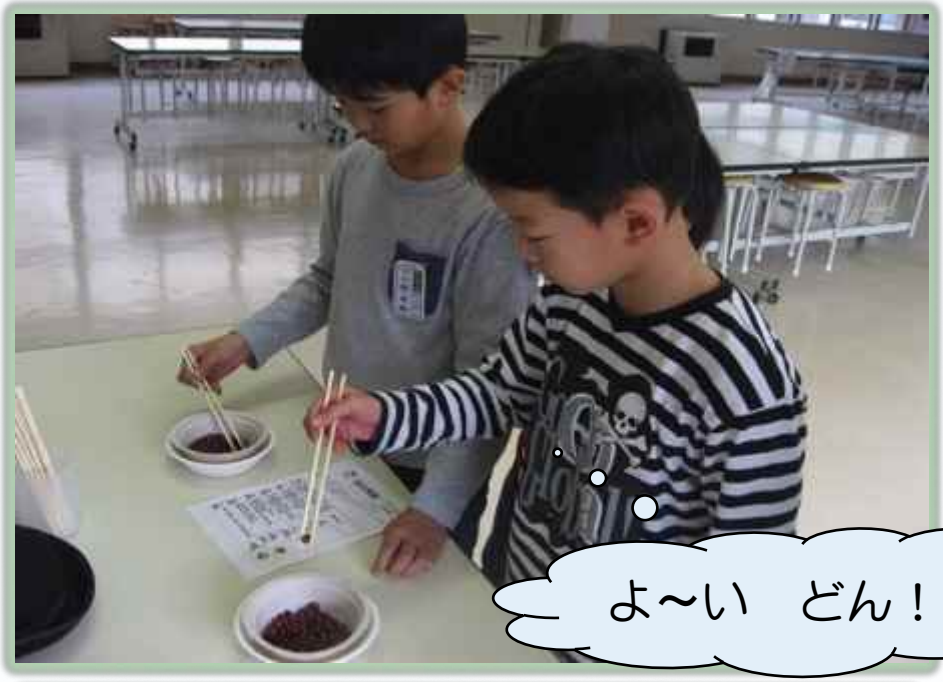
保健委員が、毎日
まわして気を付け
る項目を発表！

こんな姿がみられます！
- 「姿勢」がでると、とたんにみんなピンっとします。
- 低学年は、子どもたち同士で注意しあって気を付ける姿もみられた。

（1）給食の時間等の指導　【④ おはし検定　(小・中)】

小学校

《ねらい》
正しいはしの持ち方を知り、
正しく使って上手に食べることができるようにする【社会性・食文化】



よ～い　どん！

判定人は校長先生！

正しい持ち方
はこうだよ！

《栄養教諭のかかわり方》
検定判定人として、はしの持ち方をチェックしたり、上手にできない児童に指導したりした。

中学校

なぜ正しい持ち方をしない
といけないと思う？
（資料は栄養教諭が作成）

保健委員がお手本
となりました！

食育だより

健康な体づくりを応援します！

大館市西地区学校給食センター　R１･12月号

「おはし検定」がありました！

１２月６日に、先生や保健委員がお手本となって正しい持ち方、使い方を学びました。それから教室に準備した練習セットで、１週間腕をみがき、１３日のおはし検定本番に臨みました！

ふだんあまり気にしていなかった自分のはしの持ち方や使い方を、改めて確かめるよい機会になったようでした。

名人の紹介

１年：中嶋　新さん　・福田　美夢さん・若松　陽菜さん
２年：石戸谷　柊さん・小林　晟也さん・山内　佑真さん
　　阿部　汐莉さん・高清水　舞さん・原田　瑚夏さん
　　松田　姫奈さん
３年：佐々木　陸さん・佐々木　霞さん

検定カードから、感想を紹介します！

正しいはしの持ち方を練習して、少しよくなってきたと思うので、これからも家でしっかり練習していきたいです。

生徒の感想

名人になれてよかったです。はしは、日本の文化でとても親しみがあり、古くから大切にされてきたものなので、しっかり受け継いでいきたいです。

ぼくは、豆がすべって全然持てなかったので、ぎんなんで練習して持てるようになりたいです。

いつもは、はしの持ち方を特に意識したことがなかったけど、正しいはしの持ち方、ものの持ち方を意識して食べることができたのでよかったです。

ふだんから、自分で気を付けて、正しいはしの持ち方を意識するようにしていきたいです。

おはし名人までいくことができたし、おはしはずっと使っていくものなので、きれいに食べられるようにがんばりたいです。

自分では正しく持てていると思っていてもできていない時があるので、自分が大人になった時に、子どもに正しい持ち方を教えられるようにしたいです。

正しいはしの持ち方や使い方を意識して、生活することができてよかったです。今後も意識しながら生活していきたいです。

お家の方のコメントより

名人すばらしいです！妹も小学校で、名人になれるよう、子どもたちに教えてもらおうと思います。

はしを正しく持てていると思います。正しい姿勢にも気を付けて食べていってほしいです。

正しく持つことができたら、今度は美しく持って食べることができる女性になってほしいです。

つるつるのお豆に苦戦しながら、みんな名人を目指してがんばってくれました。
保護者のみなさま、食生活アンケートや各カード等へのコメントなど、ご協力ありがとうございました。

おはしだけではない・・もっと「美しく」食べるために！

《茶わんの正しい持ち方》

①親ゆび以外の４本のゆびをそろえて伸ばし、ゆびの腹に茶わんの糸底をのせる。

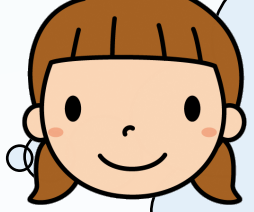
②親ゆびは、茶わんのへりにかける。

食べている様子を見ると、背中が丸い人、変な茶わんの持ち方をしている人がいましたよ

《食事の時は背筋ピン！》

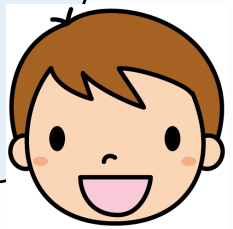
見た目もよく、食べやすい姿勢です。消化吸収もスムーズです。

背中を曲げた「犬食い」にならないように注意しましょう。



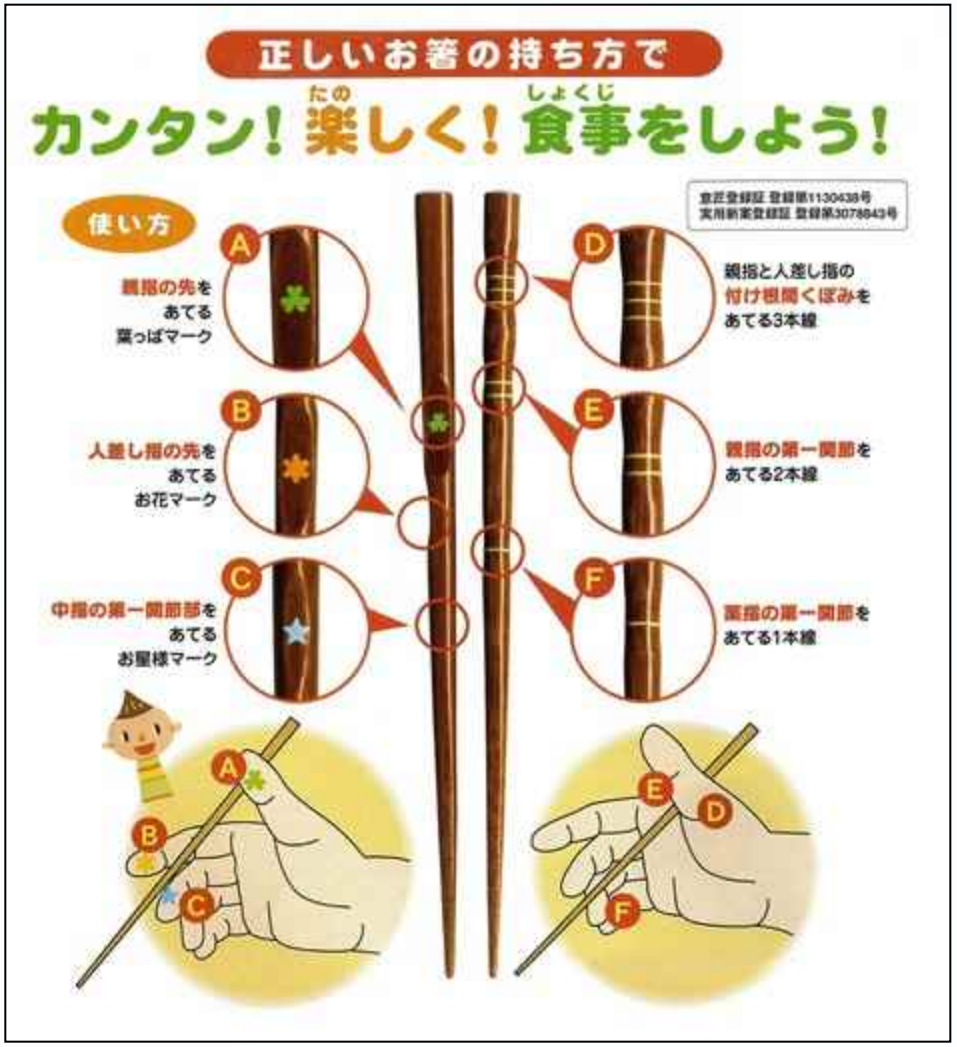
はしは日本の文化で、とても親しみがあり、古くから大切にされてきたものなので、しっかり受け継いでいきたい。

自分は正しく持てていたつもりができていなかった。自分が親になった時に、正しい持ち方を教えられるようにこれからがんばりたい。



名人すばらしい！妹も小学校で名人になりました！母も名人になれるよう、子どもたちに教えてもらおうと思います。

３点支持箸



ブランド：イシダ
400～800円くらい

エジソンのお箸

ブランド：エジソンママ
1000～1500円くらい

（1）給食の時間等の指導 【⑤ 給食ひとくちメモ(小・中)】

《ねらい》 給食を通して、食べ物や料理の栄養、由来などを知り、感謝の気持ちをもったり、健康な体を作るための食べ方ができたりする。【心身の健康】【感謝の心】

フレッシュ　W（ダブル）ソース～！

《栄養教諭のかかわり方》
毎日の給食を「生きた教材」として活用するための「給食ひと口メモ」を届ける。

（2）教科等における指導　　【①学級活動】

1年	学活	担任・養諭・栄教	「なんでも食べなくてはいけないのはどうしてだろうか」
2年	学活	担任・養諭・栄教	「やさいパワーをしって、やさいぱくぱくさくせんをかんがえよう」
3年	学活	担任・養諭・栄教	「3レンジャーがかつやくするためには、どんなたべかたをしたらよいのだろうか」
4年	学活	担任・養諭・栄教	「体によい朝ごはんを考えよう」
5年	学活	食品メーカー教材活用	「おやつの食べ方について考えよう」
6年	学活	担任・養諭・栄教	「栄養バランスのとれた朝ごはんを考えよう」

昨年度から、全学年で食に関する指導に取り組んでいる。

【①学級活動】　１年「なぜいろいろなたべものを　たべなくてはいけないのだろうか」

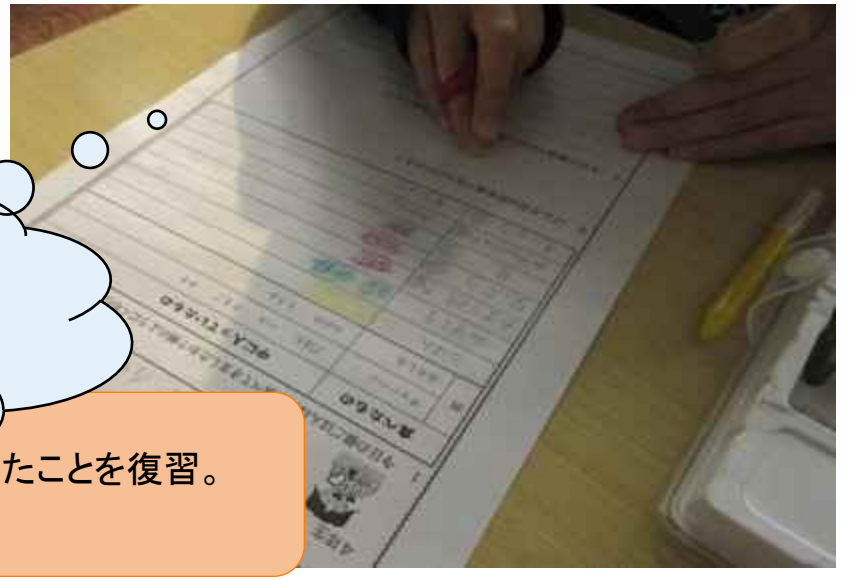
《栄養教諭のかかわり方　１～３年特別活動》

・指導案を作成し、T1として指導に参加。資料やシート等の準備。
・日程や指導内容、学担や養護教諭の先生にお願いする場面等は、養護教諭と打ち合わせ。

【①学級活動】　４年「体によい朝ごはんを考えよう」

パンだけだったから、おかずも食べるようにしたい。

【３つのキーワード】
①食べたか？
②何を食べたか？
③おかずを食べたか？



自分で用意できるものがあるとわかったので、今度から自分で３色みてそろえて食べたい。

《栄養教諭のか
・朝食の内容について、3つの　　、昨年勉強したことを復習。
・児童の考えた朝食について、アドバイス。
・望ましい朝食について解説。

【②生活科】　**2年「おいしくそだて　わたしの野さい」**

【③総合的な学習の時間】　３年「地域の特産品育て隊」

地域の立花ファームの
方と一緒にねぎを
植えました。

こんなにいっぱい
とれたよー

（3）家庭・地域とのかかわり　①給食試食会

《ねらい》学校給食を一緒に試食することで、児童の食べる様子を知ったり、
年齢に必要な栄養や量について知る機会とする。

２０分で食べおわるのは大変そうだった。給食時間が短い気がした。

１つのメニューに、たくさんの野菜や具材が入っていてびっくりした。

毎日楽しそうに献立表を見て出かけ、帰ってくると「●●おいしかったよ」と教えてくれる。

（3）家庭・地域とのかかわり　②小中合同学校保健委員会

学校医、保護者、学校職員が、子どもたちの健康について情報交換したり話しあう機会

～学校～
１年間の取組を紹介。今年度の重点は食育でした！

～保護者～
食事もそうだけど、勉強の時の姿勢が悪くて・・・

～学校医～
学校と家庭で連携して、マナーに取り組んでいていいですね！

～保護者～
兄弟で給食の話題をよく話してます！学校に行く楽しみの１つになっています。

（3）家庭・地域とのかかわり　③なべっこまつり

きりたんぽ鍋には、
３年生が収穫したねぎも
入りました！

地域の方や立花ファーム
の方と一緒においしく
いただきました！

４　評価　活動指標（アウトプット）

給食の時間を活用した食に関する指導が実施され、機能しているか。	（1）・2・3・4
□栄養教諭と養護教諭が連携した指導を計画的に実施できたか。	（1）・2・3・4
□手洗いや配膳、食事マナーなど日常的な給食指導を継続的に実施できたか。	1・（2）・3・4
□教科等で取り上げられた食材や学習したことを、学校給食とつなげて指導できたか。	1・（2）・3・4
□給食を通して、地域の食材や伝統的な食文化、産地や栄養的な特徴等を知らせることができたか。	1・（2）・3・4
教師同士の連携体制が構築され、食に関する指導が行われているか。	1・（2）・3・4
□栄養教諭は、養護教諭、教諭と連携して指導ができたか。	（1）・2・3・4
□家庭や地域、生産者等と連携を図った指導ができたか。	1・（2）・3・4

【評価】　1：できた　　2：おおむねできた　　3：あまりできなかった　　4：できなかった

４　評価　　成果指標（アウトカム）

成果指標項目			現状値（%）	目標値（%）	実績値（%）	評価 1・2・3・4	備考
食習慣の状況	朝食を「毎日食べる」と回答した児童の割合		91.6	94.0	93.9	1・(2)・3・4	朝食指導を行った４年生で大きく上昇した。朝食は、家庭環境も大きいため、家庭への啓発を継続していく必要がある。
	朝食の内容を「主食＋おかず＋汁」と回答した児童の割合		30.8	40.0	37.5	1・(2)・3・4	
学校給食での栄養摂取状況	学校給食を「いつも完食」と回答した児童の割合		51.8	60.0	55.7	(1)・2・3・4	ペロリンピックや食に関する指導の効果があった。
	配膳されたものを残さず食べようとする児童の割合		75.4	80.0	79.1	(1)・2・3・4	ペロリンピックや食に関する指導の効果があった。
	苦手なものがでた時「できるだけ食べる」と回答した児童の割合		87.1	93.0	77.9	1・2・(3)・4	数値は下がったが、ペロリンピックではチャレンジしている姿が見られた。継続して指導していく必要がある。
食に関する意識の改善状況	「好き嫌い」	しないで食べている児童の割合	66.0	70.0	68.0	1・(2)・3・4	ペロリンピックや食に関する指導で、苦手なものでも食べようとする意識が高まった。
		しないよう指導している保護者の割合	64.5	70.0	66.0	1・(2)・3・4	カードを活用したことで、好き嫌いしないで食べさせたいという保護者の意識が高まった。
	「正しくはしを持つ」	食べることができる児童の割合	73.8	78.0	74.8	(1)・2・3・4	おはし検定で、自分の持ち方や使い方を振り返り、正しい持ち方をしようとする児童が増えた。
		食べられるよう指導している保護者の割合	77.6	85.0	80.0	(1)・2・3・4	小中で実施したことやカードを活用したことで、家族みんなで取り組むきっかけ作りができた。
	「正しい姿勢」	食べている児童の割合	67.0	70.0	68.0	1・(2)・3・4	マナールーレットや毎日の継続した声かけ指導で、意識する児童が増えた。
		食べるよう指導している保護者の割合	66.4	70.0	66.0	1・2・(3)・4	カードの活用で、家庭でも姿勢に気を付けようとする意識が高まった。

【評価】　１：できた　　２：おおむねできた　　３：あまりできなかった　　４：できなかった

①朝　食

	５月	12月
朝食を「毎日食べる」と回答した児童の割合	91.6	93.9
朝食の内容を「主食＋おかず＋汁」と回答した児童の割合	30.8	37.5

・「毎日食べる」児童が増えた。

・おかずをプラスして食べる児童が増えた。

・朝食指導を行った4年生は、「主食＋おかず＋汁」の朝食をとる児童が、大きく増加した。　29.4%→37.5%

②好き嫌い

	５月	12月
学校給食を「いつも完食」と回答した児童の割合	51.8	55.7
配膳されたものを残さず食べようとする児童の割合	75.4	79.1
苦手なものがでた時「できるだけ食べる」と回答した児童の割合	87.1	77.9

・「いつも完食」する児童が増えた。

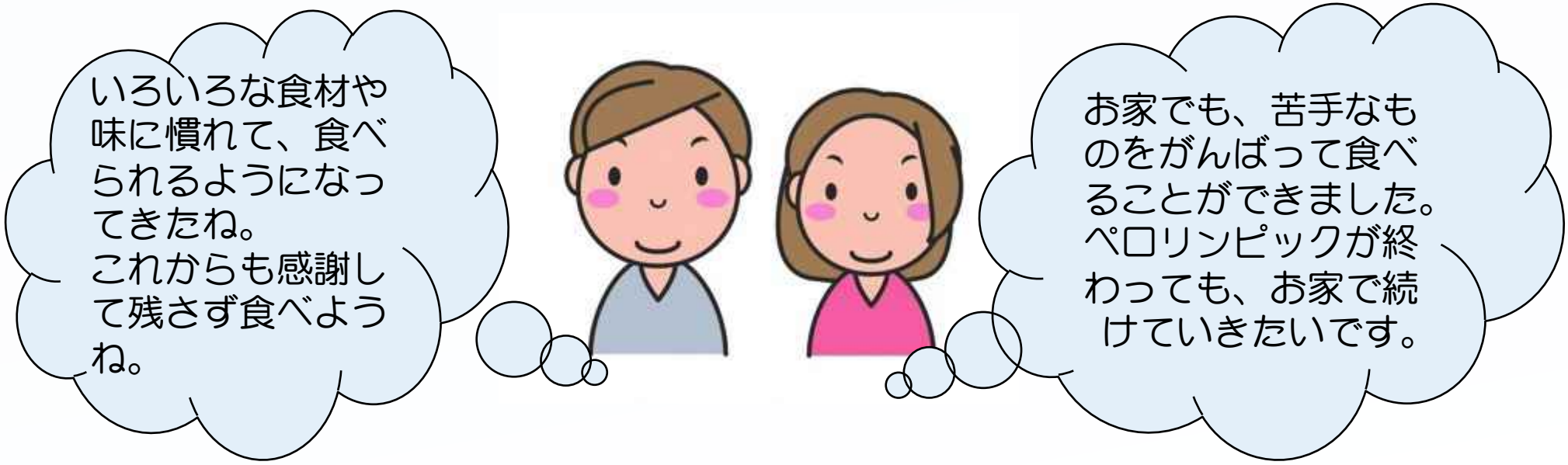
・給食時間の様子からも、残さず食べようとする児童が増え、「完食できたよ！」と教えてくれるなど、しっかり食べられるようになってきたことを感じる。

・苦手なものを「できるだけ食べる」の割合が減少した。
高学年に多く見られる。

②好き嫌い

		５月	12月
「好き嫌い」	しないで食べている児童の割合	66.0	68.0
	しないように指導している保護者の割合	64.5	66.0

・ペロリンカード等で、保護者の意識も変わり、家庭でも好き嫌いしないで食べるよう指導する家庭が増えた。



③食事マナー

		５月	12月
「正しくはしを持つ」	食べることができる児童の割合	73.8	74.8
	食べられるよう指導している　保護者の割合	77.6	80.0
「正しい姿勢」	食べている児童の割合	67.0	68.0
	食べるよう指導している保護者の割合	66.4	66.0

・はしの持ち方・使い方について、意識して食べる児童生徒が増えた。自分の持ち方・使い方を見直す良い機会となった。

・指導する保護者が、増加した。家族全員で取り組んだ家庭が多く、きっかけ作りができた。

・給食時間には、先生方も積極的に声かけ指導をしてくれるようになった。

《成　果》

◯栄養バランスや食事マナーなどを考え、気を付けて
　食べようとする児童が増えた。

◯小、中で同じ取組を実施したり、カードを使用したことで、
　家庭での食に関する話題が増え、意識が高まった。

◯教職員の、食育に対する意識が全体的に高まった。

《課　題》

▲食生活を変えるためには家庭の協力が大事なので、
　継続して連携をしながら進めていくことが必要。

▲学校では、食育が後回しになりがちで、調整が難しい。
　連携の仕方を考える必要がある。

おわりに・・・

「きらきら
かがやく
川口っ子」
のために

このような機会を与えていただき
ありがとうございました。